

# 第19回五霞町青少年の主張大会

第19回五霞町青少年の主張大会が12月19日、五霞町中央公民館講堂において盛大に開催されました。

当日は、町長をはじめ、町議会議員、教育委員、各小中学校PTA会長、社会教育委員、民生委員、青少年育成五霞町民会議委員など多数の来賓や一般聴

聞者が出席するなか、各小中学校から選抜された10名の児童生徒が、日頃の考えや思い、また将来の夢などを力強く発表しました。

受賞者は次のとおりです。  
《受賞者名》 (敬称略)

○五霞町青少年問題協議会長賞

五霞中 2年 堀山 砂月

○五霞町議会議長賞

五霞中 2年 鳩貝 春香

○五霞町教育委員会教育長賞

五霞東小 6年 染谷 若那

○青少年育成五霞町民会議会長賞

五霞西小 5年 齊木 姫乃

○五霞町青少年相談員協議会長賞

五霞中 3年 本間 結衣

○優秀賞

五霞東小 5年 中村 文音

五霞西小 6年 染谷 力生

五霞中 1年 東 佑馬

五霞中 1年 篠崎 葵

五霞中 3年 松本 勇太



## わたしたちの町

五霞中学校2年 堀山 砂月



ふるさと。みなさんはこの言葉から何を連想しますか。そしてどんな場所が頭に浮かんできませんか。この言葉を辞書で調べてみると、自分の生まれ育った土地、とあります。単純に任んでいいという意味ではなく、ふるさとで過ごした時間、体験も今のわたしに影響を与えているもので、わたしの生活の土台になっているのだと思います。ふるさとこそが、今のわたしのルーツになっているのです。

わたしは小学校、中学校とこの五霞町で過ごしてきました。緑

に囲まれ、それがわたしの生活の中では「ふつう」のことで、当たり前前のことでした。しかしそんな生活に大きな変化が訪れようとしています。それが今話題になっている圏央道と五霞インターチェンジの開通です。圏央道が完成したら、埼玉方面とつくば方面がつながって、五霞から神奈川方面へも直接行けるようになるそうです。今までなら高速道路を使うために三十分以上かけて移動していたのにこれは大きな変化ではないでしょうか。旅行も行きやすくなります。私は水泳をやっているのですが、その大会会場へ行くときも、今までは朝早くに起きなければならなかったけれど、少し余裕ができるかもしれないと思いました。

ただ、どうしても心配してしまうのです。交通網が発達して私たちが得られるものが多くある一方、失ってしまうものもあるのではないかと。五霞インターチェンジができたからお店や道路が増えるでしょう。そうすると私たちの成長を見守ってくれていた緑が減ってしまいます。車の数が増えれば排気ガスによって空

気は汚れ、ごみの量も増えるかもしれません。私たちが育ててくれたふるさと、五霞がなんだか知らない町に変わってしまうようで、複雑な気持ちになるのです。

なくてはならない緑が失われるのはやはり悲しいことです。ただ、五霞インターチェンジは私たちの「五霞町」をいろいろな人知ってもらおうチャンスでもあります。豊かな自然、人の温かさもつ五霞町らしさを、私はそのまま日本中の人たちに知ってもらいたい、そう思います。

私たちは自分だけで成長したわけではありません。家族、友達、先生、地域の皆さん、いろいろな人たちの助けを得て、ここまですごく大きくなりました。そしてこの五霞町が今の私たちを作ってくれたのです。今の自然を大切にしながら、新しい変化を受け入れる。緑を共存させながら、町の発展を次世代の私たちの手で行っていく。そんなことができればいいなと思います。